

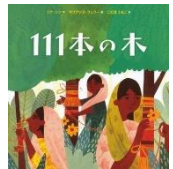


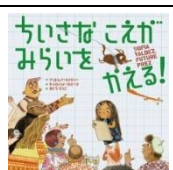









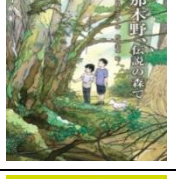



☆低学年・課題図書（読書感想文）4冊☆	本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
『つくしちゃんとおねえちゃん』 頭がよくて、ものしりな、あたしの自慢のおねえちゃん。おねえちゃんは歩くとき、少し右足をひきずります。気が強くて優等生の小学4年生のおねえちゃんと、マイペースでちょっと不器用な小学2年生の妹つくしちゃん。妹の視点で、姉妹の日常をきりとった5編の物語です。	いとうみく/作 丹地陽子/絵 福音館書店	
『ばあばにえがおをとどけてあげる』 評論社 ばあばはこのごろ元気がない。「じんせいからよろこびがきえちゃったみたい」って、ママはいう。ファーンは、「よろこび」をとりもどしてあげようと、よろこび探しの旅に出かけます。わたしたちに「よろこび」の意味をやさしく教えてくれる、おばあちゃんと孫娘のあたたかな物語。	コーリン・アーヴェリス/作 イザベル・フォラス/絵	
『すうがくでせかいをみるの』 うちのかそくには、みんなそれぞれすきなことがある。いろいろやってみてピンときたのは『すうがく』 世界をみる方法は、いくつもある！数学が大好きな主人公の、「すき」の気持ちがあるおはなし。「すきなこと」を通して、自分なりの世界の見方を見つける絵本。	ミゲル・タンコ/作 福本友美子/絵 ほるぷ出版	
『おすしやさんにいらっしやい』 寿司職人が贈る魚とお寿司の写真絵本！釣り上げた魚をさばき、だんだんと美味しそうな切り身へとかわっていく様子を、動画のような連続性で見せる写真絵本です。魚のとくちょうや部位の名前も解説しています。「命をもらって生きている自分を大切に」とメッセージを贈ります。	おかだだいすけ/作 遠藤宏/写真 岩崎書店	
☆低学年・指定図書（読書感想画）6冊☆	本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
『ジェンと星になったテリー』 ジェンは、ユイの家の飼い犬。亡くなったはずの先住犬テリーがときどき現れますが、なぜかジェン以外には姿が見えません。それを快く思わないジェン。そんなある日、ユイがたいへんなことに！ジェンはとっさにテリーに助けを求めます。飼い犬と先住犬の心あたたまるお話です。	草野あきこ/作 永島壮矢/絵 岩崎書店	
『葉っぱにのって』 風にのっていつまでも空を飛んでいる葉っぱには、葉っぱの妖精が乗っているんだって！引っ込み思案の妖精のクルミのお話です。ハラハラ落ちて風に舞う葉っぱを見るのが楽しくなりそう。※いつも子どもと遊びたいと思っている葉っぱの妖精ですが、内気で声をかけられない妖精もいるようです。	濱野京子/作 しろさめ/絵 金の星社	
『ベットのなかはきょうりゅうのくに』 ぼくは、ベッドの中にもぐってほらあな探検することにした。進んでいくと、何とそこは大好きな恐竜の世界が広がっていた。ティラノサウルスに追われて迷子になったランベオサウルスの子・ベオと出会ったぼくは、ベオのお母さんをさがす旅に出る。恐竜好きの子どもに送る冒険物語！	まつおかたつひで/作・絵 童心社	
『モグラのモーとグーとラーコ』 おるすばんをたのまれたモグラのモーとグーとラーコ。でも、いちばん下のラーコはおかあさんに会いたくて泣きだしてしまいます。3びきは、おかあさんをさがしに出発。あぶない！3びきは、ぶじにおかあさんにあえるのでしょうか。くりかえしが楽しい絵本です。	みやにしたつや/作・絵 ポプラ社	
『いちばんのともだち』 サムが一番の友だちはむいぐるみのジャンプ。ところが、一緒に海に出かけた日、サムはジャンプをおきわすれてしまいます。新しい友だちとの出会い、海辺での出来事を通して少年の成長を静かに描いた絵本です。	ジェニファー・K・マン/作 林木林/訳 光村教育出版	
『そらのきっさてん』 ここは、空にある、白くて大きなねこの雪男さんが店主の喫茶店。下界での命を終え、旅立ったいきものが集う、メニューのないお店です。そのお客さんはどんな人かしら？それぞれにぴったりの食べ物や飲み物を、優しい時間とともに、さあどうぞ。	くまくら珠子/著 理論社	

☆中学年・課題図書（読書感想文）4冊☆	本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
『みんなのためいき図鑑』 授業参観にむけて、たのちんの班は「ためいき図鑑」を作ることになった。どんな時にヒトがためいきをつくのか調べて発表するんだ。でも一緒にの班の加世堂さんは、保健室登校で、教室にはちっともきてくれない。家族や友達との関係にゆれる子どもの気持ちを、鮮やかに描いた物語。	村上しいこ/文 中田いくみ/絵 童心社	
『チョコレートタッチ』 ジョンは、お菓子が大好きな男の子。中でもチョコレートが大好き。しかし、不思議なことがおこりはじめました——。今から70年前に書かれた、ギリシア神話がもとになったお話で、好き嫌い・栄養バランス・健康を考えるきっかけになりそうな一冊です。	パトリック・スキーン・キャトリング/作 伊藤淑子/訳 文研出版	
『111本の木』 インドに女兒の誕生を111本の木を植えて祝う村があります。ジェンダー平等を提唱するこのエコロジー活動により、村は豊かな自然を取り戻しました。女兒に学ぶ機会を与え、児童婚から守るために行動した尊重を描く実話。男尊女卑というジェンダー問題が中心です。	リナ・シン/作 マリアンヌ・フェラー/絵 こだまともこ/訳 光村教育出版	
『この世界からサイがいなくなってしまう』 サイと密猟者、そしてサイを守る人たちの、知られざる戦いがある。密猟でサイが激減するなかでの、「サイの孤児院」や科学技術による「復活プロジェクト」などの取り組みを紹介した一冊です。南アフリカ共和国での現地取材を行ったNHKの記者による、迫真のノンフィクション。	味田村太郎/文 学研	
☆中学年・指定図書（読書感想画）6冊☆	本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
『まいごのビーチサンダル』 砂浜に忘れられたビーチサンダルの片われ“サン”。波にさらわれ、沖へ流されていく途中、サンゴの卵たちや、ナポレオンフィッシュ達出会い、みんな悲しい別れをしていると知る。だれもが経験する出会いと別れ、はなればなれになった友だちへの思いを繊細に紡いだ物語です。	村椿菜文/作 チャンキー松本/絵 あかね書房	
『ちいさなこえがみらいをかえる』 ソフィアは、おじいちゃんと 街のお年寄りの家に行き、お手伝いをしてまわります。ある日、ソフィアはゴミを撤去して公園をつくることを思いつきます。こどもが公園をつくるのは簡単ではないが、勇気をふり絞って、一歩をふみだします。	アンドレア・ベイティー/作 ディビッド・ロバーツ/絵 かとうりつこ/訳 絵本塾出版	
『パパとタイガのとびっきりキャンプ!』 パパとお出かけの日。あんまり荷物が多いから、どんなに遠くへ行くかと思ったら、なんとキャンプ!! テントを張って、火を起こして、外で料理して、カヌーにも乗るんだ! はりきっていたパパは、テントを張るのも四苦八苦。でも、やっぱりふたりのキャンプは最高♪	セバスチャン・ブラウン/作 きかせ屋。けいたろう/絵 教育画劇	
『ねこと王さま しごとをさがす』 お城がもえてしまった王さまは、友だちのねこといっしょにくらしています。ところがねこは、金庫のお金を数えてため息。請求書のお金をはらったり、買い物をするのには、お金がかかります。すぐに仕事をクビになる王さまと、かしこいねこのゆかいで楽しい物語。	ニック・シャロット/作・絵 市田泉/訳 徳間書店	
『となりのショセツさん』 ショセツさんは、ぼくんちのとなりのおばあさん。毎日、愛犬といっしょに散歩して、パン屋さんに行って、町のポスターをながめる。その繰り返しだったのに、最近ちょっとおかしい。男の子とショセツさんのつながりを描くお話です。	ロイク・クレマン/文 アンヌ・モンテル/絵 石津ちひろ/訳 評論社	
『ほら、ここにいるよ』 広い宇宙にぼくらの住んでいる“ちきゅう”がある。陸、海、空、言葉、昼や夜、時間。なんて素晴らしい世界! この場所を、ずっと離れた宇宙からの視点で考えます。絵本の中には、きっと進むべき道へのヒントが隠されているはず。迷った時には何度でも読み直してもらいたい一冊。	オリヴァー・ジェファアーズ/作 Tupera tupera/訳 ほるぷ出版	

☆高学年・課題図書（読書感想文）4冊☆ 本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
<p>『リンゴの木を植えて』 大谷美和子/作 白石ゆか/絵 ポプラ社</p> <p>みずほは小学五年生。二世帯住宅で暮らす大好きな祖父にがんの再発がわかった。しかし、祖父は「積極的な治療」はおこなわないという。やがて祖父や家族と語り合うあたたかな、とっておきの時間のなかで、「おじいちゃんの生き方」を見つめ、人間の生死について考える物語。</p>	
<p>『風の神送れよ』 熊谷千世子/作 くまおり純/絵 小峰書店 長野県南部、天竜川上流域を中心に伝わり、国の無形文化財にも指定されている「コト八日行事」。優斗たちが暮らす地区では、二日間にわたる行事のすべてが子どもたちの手にまかされている。さまざまな困難に立ち向かい、自らの責任を懸命に果たそうとする子どもたちの姿を鮮やかに描く成長の物語。</p>	
<p>『ぼくの弱虫をなおすには』 K・L・ゴーイング/作 久保陽子/訳 早川世詩男/絵 徳間書店 小学校 4 年のゲイブリエルには、こわいものがたくさんある。何よりこわいのは、5年生に進級すること。（いやな上級生と同じ校舎になるから）1976 年アメリカを舞台に、偏見や人種差別の問題にふれつつ、苦手を克服する子どもたちの成長を描いた、心にひびく物語。</p>	
<p>『捨てないパン屋の挑戦』 井出留美/著 あかね出版 捨てないパン屋として評価される田村さんの思想を、食品ロスの専門家として数多くの受賞を誇り、食品ロス削減推進法成立の原動力となった井出さんが、一冊の本にしました。美しい自然風景と感動的なエピソードを交えながら、自然への深い愛情と、食品ロスなき未来への希望を描いたノンフィクション。</p>	
☆高学年・指定図書（読書感想画）6冊☆ 本の題名・書いた人・あらすじ	本の表紙
<p>『妖怪コンビニで、バイトはじめました』 令丈ヒロ子/著 あすなろ書店</p> <p>青い海で1キロの遠泳にいどんだ夏。まぶしい絆が、少年たちの心をつよくする一さわやかな成長物語。佐渡の海を舞台に、遠泳の大会にチャレンジする中で、心身ともに成長していく少年達の姿を爽やかに描くスポーツ青春小説。</p>	
<p>『日向丘中学校カウンセラー室』 まはら三桃/著 めばち/装画 アリス館</p> <p>つい、うっかり…。マイペースで忘れ物が多く、通勤電車での帰り道、ついつい寝こんでしまうイナバさんの、トホホでウフフなファンタジー。ある日、イナバさんの影が逃げし、追いかけて乗りこんだ電車はみょうな電車でした。ゆかいで、だきしめたくなるお話です。</p>	
<p>『縄文の狼』 今井恭子/文 岩本ゼロコ/画 くもん出版</p> <p>海に近づくことを禁止されていたフィンが、ある日海に落ちてしまいます。溺れる覚悟をしたフィンでしたが、逆に海の中で自由に泳ぎまわれるイルカ族の乙女と漁師の間に生まれた子どもということを知り……。伝説をまじえながら海洋汚染をとりあげた物語です。</p>	
<p>『那木野、伝説の森で』 西村さとみ/作 佐竹美保/絵 国土社</p> <p>神社の御神体とこの森には「大蛇の伝説」という悲しい言い伝えがあった。夏休みにやってきた優は、森で出会った不思議な少年ミチルと白い子犬のイツキとともに、森を脅かすものに立ち向かうことになり、この森と石に伝わる「大蛇の伝説」に巻き込まれていく。</p>	
<p>『幽霊屋敷貸します』 新装版 富安陽子/作 篠崎三朗/絵 新日本出版</p> <p>季子たち一家が引っ越した庭付きのお屋敷。りっぱな家を格安で貸し出すなんて怪しい…。新居での夕食、ダイニングに現れたのは、おばさんの幽霊！「あなたたちがこの家に住むのにふさわしい人たちかどうか、たしかめにきた」という。明らかになるおばさん幽霊の本当の願いとは!?</p>	
<p>『小さいママと無人島』 キャロル・ライリー・プリンク/作 谷口由美子/訳 松本春乃/絵</p> <p>オーストラリアへ向かう船の中で異変を察知した12歳のメアリは、妹のジーンと船内に残されていた4人の赤ちゃんとともに救命ボートに乗りこみ夜の海へ。絶体絶命な状況なのに、2人の少女は元気いっぱい赤ちゃんのお世話をします。 文溪堂</p>	